

和歌山県内産小麦粉 100%のコッペパンを給食へ

令和2年11月9日に和歌山市内で収穫された小麦粉を使った給食用パンが和歌山市立貴志南小学校にて初めて提供されました。9日から30日まで全6回にわたり、実施されました。

昨年より保護者の方から給食用パンの小麦粉について、当会へお問い合わせがあり、国内産や県内産の使用を検討しておりました。しかし、国内産パン用小麦粉は市場価格は高く、和歌山県内産となると生産量が少なく流通していないことから導入は難しいと考えておりました。(農林水産省:令和2年3月麦の参考統計表より令和元年度和歌山県での小麦収穫量は2tで全国46位)

今回、事情を知った和歌山市内で農家をされている貴志正幸氏が手を挙げてくださり、パン用小麦粉を生産していただけることになりました。貴志氏は田植え授業等で交流のある和歌山市立貴志南小学校の子供たちに食べてもらいたいと希望されたため、今年収穫された小麦粉を使った給食用パンが提供されました。

9日の給食の時間に、貴志氏も学校を訪れて、校内放送にて生徒たちに「今年採れた小麦粉でできたパンのお味はどうでしょうか」と話されていました。

給食が始まると子供たちはおいしそうにパンをほおぼり、「柔らかくておいしい。いつもよりいい匂いがする」と感想を伝えてくれました。

また、地元テレビ局や新聞社3社からの取材もあり、当日夕方のニュースで給食の様子が放映されました。当会では、今後も食育事業の一環として、和歌山県産小麦粉を使ったパン給食を実施していきたいと考えております。課題は、生産農家の不足と価格面です。活動にご賛同いただける生産者の方とお話できる場を持ちたいと考えております。当会までお問い合わせください。

[和歌山市立貴志南小学校ホームページ](#)にも掲載されました。こちらもぜひご覧ください。



(R2年11月9日掲載)